

## 【議事録】第1回長井市公共施設等整備計画検討委員会

日 時 平成 28 年 8 月 19 日（金）10：00～12：00

場 所 タス パークホテル 3階「絋」

---

### 概 要

今年度 9 月頃までに策定予定の公共施設等整備計画について、委員の委嘱状の交付と第 1 回の協議を行った。

### 内 容

#### 1. 開会

#### 2. 委嘱状交付

#### 3. あいさつ（市長）

公私ご多忙の中、皆さんには委員をお引き受け頂いたことに感謝。公共施設の整備は重要課題。特に予算については議会と市民の皆さんが心配するところ。

この整備計画については庁内でようやく意思統一が図られた。最も悩んだのは市役所庁舎。本庁舎は昭和 33 年度建設で築 58 年。現庁舎の場所は国交省のハザードマップ上、洪水時浸水想定区域 0.5～1.0m の指定を受けている。昨今の甚大な暴雨災害を受けて国交省はハザードマップを見直し中で、更に厳しい浸水想定区域の設定が予想される。有事の際に重要なのが市役所。新築かつ、場所の再検討も必要。

文化会館については、2 年ほど前に検討いただいていた委員会からは、約 50 億円で新築を要望されたが、財政的に大規模改修で行かざるを得ない。

また、グンゼと協同薬品の使っていない土地をご協力いただけるという前提のもとに、置賜でもまだ例のない複合的な施設を計画している。まちの賑わいづくりに関しては本町のタウンセンターの問題もあるが、商業機能にプラスして子どもから高齢者まで楽しめる機能が求められていると思っている。これら諸々、整備計画について皆様からご意見を賜りたい。

#### 4. 委員紹介・職員紹介

#### 5. 委員会要綱について（説明：事務局）

#### 6. 委員長及び副委員長の選出について

委員に諮り、事務局一任の声あり。事務局案として、委員長に勝見英一朗委員、副委員長に菊地とく委員を提案。委員全員の拍手により事務局案の承認がなされた。

（委員長あいさつ）

公共施設は築 50 年も経過していると放っていくわけにはいかない。放っておけば次世代に重荷を負わせるだけ。市民としても何か手を打たないといけない時期にあ

ると感じていた。今回、せっかくの機会を頂いたので、皆さんと共に意見を述べさせていただきます。この検討委員会の役割は、諮問に対する答申ではなく、委員の見地から様々な意見を述べ、それを参考にして市に最適な計画を練ってもらうこと。皆さんからは色々のご意見を頂きたい。

## 7. 協 議

### (1) 長井市公共施設等整備計画（案）について

#### ①第1章～第2章

(事務局説明) …別添資料のとおり説明。

(委員) 市民文化会館は新耐震基準を満たしていないとのことだが、現在は何らかの規制の下で使用しているのか？

(事務局) 文化会館は旧耐震基準の建物。現在の基準で耐震性が確保されているかは診断しないとわからない。現時点で診断未実施のため、危険度は不明。

(市長) 耐震基準を満たしていなかったら使用禁止にせざるを得ない。耐震診断の実施のタイミングは、その建物について今後どうするかすぐ対応できる体制を整えた後でないと市民の皆さんに迷惑と混乱を来たすことになる。

長井市で問題になったのが長井小第一校舎。国の補助を受けて耐震改修してこうと決めて診断を行ったところ、耐震性があまりにも低いことが判明し、耐震だけでなく免震工事まで必要とわかった。工事費が当初の予想より増え、国からの補助額も予想より少額となったため、予算の目途が立たず学校施設としての改修計画は頓挫した。危険な建物なので現在は閉鎖中。

(委員) 人口と歳出予算のグラフを見てみると、人口は減っていくのに歳出は増えている。この流れを考えながら各公共施設の重要度を見定めた上で進めていただきたい。

(副市長) 市の第五次総合計画では、公共施設の総面積は現状維持もしくは縮減という記載をしている。歳出予算の増加は扶助費など福祉関係の支出増による。一方で、人口を減らさないために結婚・出産・子育てしやすくなる前向きで戦略的な施策が必要。市では子どもに関わる施設は積極的に進めていこうという考え。

市役所庁舎についても、第一段階では現庁舎を活かし、庁舎の総面積を減らしたうえで第二庁舎を新築しようという考えもあった。その検討の経過以降に、常総市の庁舎の浸水、宇土市での庁舎崩壊があり、改めて庁内の検討委員会を開催し、庁舎は1つにまとめて新築、場所は要検討という意味統一を図ったところ。

(委員) 複合施設の建設予定地にあるグンゼ、協同薬品の2社については、用地買収により市外へ移転してしまうのではないかと心配している。工場や本社はせめて市内に残してもらいたい。子育てに関しては、女性の働く場の確保や、勤務地の

傍に保育所等を設置するなど、住みやすいまちづくりをお願いしたい。

(市長) グンゼの社長とお話しさせていただいた際、工場はそのまま残していただきたいとお願いしている。現在、敷地の7割位はあまり使っていないとのことで、その部分をお借りするか、お譲り頂くことでご快諾を得ている。

協同薬品についても未使用の工場用地を検討しており、社長から市に買い取ってもらいたいとの話を頂いた。その際、本社が市外へ移転するなら我々は応じないとの条件を提示し、社長からも本社はもちろん市内に置くとの回答を得ている。

## ②第3章～第4章～第5章（整備対象施設、整備スケジュールまで）

(事務局説明) …別添資料のとおり説明。

(委員) 整備計画本文のP21で、小学校施設の整備方針で伊佐沢小の記載が無いが、どうということか？

(事務局) 伊佐沢小の建築年は平成元年で、築27年経過の建物。他校に比べると比較的新しい。伊佐沢小の記載は無いが、本文中、「学校施設は災害時の避難所としても重要な施設であり、～」というくだりは、伊佐沢小を含む全小中学校にかかるもの。これではわかりにくいので、何らかの記載方法を考えたい。

(委員) これまで市は施設整備に国などの補助制度を利用しながら進めてきた。築50～60年程経過した建物の建替えや改修が必要とのことだが、個人的にはまだ50～60年という感覚。既存施設の長寿命化から優先的に始めるべきではないか。

市役所庁舎は防災上重要な建物なので集約した施設とすべきだろう。庁舎は補助制度が受けにくい建物と聞いている。であれば、PFIなどの民間の協力を得て整備することも手法の一つ。起債とどちらが有利かよく検討して欲しい。

(委員) 計画には一部の施設の廃止についても記載がある。人口減社会で均一的な施設の維持は困難である。既存の利用者の合意形成を図らなければならないが、一部施設の廃止については積極的に書かざるを得ないのではないか。

また、長井が余所と競争していくには中心市街地を魅力あるべき場所にしていくべき。投資すべきところに投資しないと都市間競争で後れを取ることになる。

(委員) 市役所庁舎については、文化会館と一体化できないか？まとめた方が維持管理経費等は削減されるのではないか。

(市長) 市役所庁舎は事務所なので建物の構造がシンプル。一方、文化会館は音響等特殊な技術で設計・施工するので建築単価が高い。ある程度の区分けはできるが、一般的にはこういった特殊な建物と一体化させると建物全体が高額になる。

文教施設整備計画検討委員会からは去年の3月に50億円で新築の要望を頂いた。市役所庁舎は30～40億円位。合築では100億円近い建物になる。文化会館は高額

なので大規模改修で済ませたい、と文教施設整備計画検討委員会にお願いした。

市役所庁舎を新築する場合は場所が課題であり、民間の機能、PFI で整備した方が効果的かもしれない。例えばどこの役所や庁舎でも食堂や売店がある。テナント料を頂いて場所を貸している。庁舎内に民間の施設が入っていても良い。

(委員) 必要な施設については予算をかけざるを得ない。お金が無くてもやるべきものがある。昭和 40～50 年代もお金は無かったが、後年度負担で整備してきた。

長井には若い世代に魅力ある施設が無い。例えば、長井市民が遊戯施設のある別のまちへ子どもを連れて遊ばせている状況。子育て世代が余所へ引っ越してしまった話も聞く。高齢社会対策も必須だが、若いお父さんお母さんがいなければ人口は増えないのだから魅力ある施設の整備には積極的に取り組んでもらいたい。

### ③第 5 章（概算事業費、将来負担の推計）

(事務局説明) …別添資料のとおり説明。

(委員) 公債費などの金額については専門的で難しいが、借金で市の財政が破綻するような事態にはならない見込みであるとの説明であった。

(委員) 金額については良くわからないが、建物を耐震化、新築、改修するという「行為」と、それにいくらかかるという「金額」の二つだけで考えると、例えば耐震化したのに人口は減っていき、それをどう使っていけばいいのかわからないような箱モノを生み出すだけになるので、それをやることによって「地域がどうなって欲しいのか」という視点を皆さんで議論したうえで整理していくべきではないかと感じた。

(委員) 今後は建物の中で人間をいかに安全に守っていくかというシステム化の方向に変わっていくと思う。新たな建物を建てる前に既存の建物の長寿命化を図るのが前提だと私は思っている。

長井小第一校舎で検討されている免震については、木造校舎にとっては最高の選択肢であるが、免震は結構な金額のメンテナンス費がかかる。ランニングコストは忘れないで試算してもらいたい。

(委員) 若い人に意見を聞くと、南陽市の人気が高い。子どもを遊ばせる花公園があり、新築の文化会館には有名なアーティストのコンサートが行われる。長井市も魅力を発信できれば若い人たちも住みたいと思ってもらえると思う。

十数年前、市の財政は全国的に見て夕張市に近い位悪いと聞いていたが、今は市の努力で改善したと聞いている。必要なものには投資が必要で、現在 7 か所に分散している市役所を一つにまとめるのは市民としても利用しやすい。本庁舎、第二庁舎は冷房もない。市役所庁舎の位置の候補地はどこを想定しているか。

(副市長) 市役所庁舎の候補地については、駅前に複合施設と合築という考え方もあ

る。また、少々難しいかもしれないが、タウンセンターの場所。それから、現在の本庁舎を活かしながら、向かい側の駐車場に第二庁舎を新築するか。これらは費用対効果、適地性を考慮して選定していかねばならない。まずは、中心市街地の中に、ということは明確にしていきたい。

(委員) 防災の視点でも建物を考えるということだが、私は災害の多くは人災だと思っている。建物は建てたら老朽化し、いつか朽ちていく。長井は建物を高層化する必要はなく、エリアを決めていった方が良いと思う。例えば駅周辺に行政エリアを決め、平屋や2階建を建てた方が良いのではないかと思っている。

(市長) 役所内だけで物事を見ていると視点が欠ける場合があるのでご意見が伺えて良かった。私はこれまで市役所庁舎を長井駅に建てたいと言ってきた。職員からは法的な規制とコストが莫大にかかると言われたが、あきらめずに検討するように言っている。公共の建物に複合的な機能を持たせることは重要である。

現在の長井市役所庁舎の位置を決める際も議会で相当揉め、1票差で現在の位置となったと聞いている。将来はこれが良いのだと、職員と意思を統一しながら、皆さんからも助言頂いて実現して参りたい。今日は大変ありがとうございました。

## (2) その他

(事務局) パブリックコメントを9/1～9/21間に募集する。結果を取りまとめ、第2回の会議で報告させていただきながら、再度ご意見を頂く。

## 8. その他

## 9. 閉会

以上